

厚生労働行政推進調査事業費補助金（難治性疾患等政策研究事業（免疫アレルギー疾患等政策研究事業（免疫アレルギー疾患政策研究分野）））

慢性腎臓病CKDの診療体制構築と普及・啓発による医療の向上  
CKD診療連携体制の構築

研究分担者	守山敏樹	大阪大学キャンパスライフ健康支援センター	教授
研究分担者	旭 浩一	岩手医科大学医学部内科学講座	教授
研究分担者	安井宜成	名古屋大学大学院医学系研究科	教授
研究分担者	向山政志	熊本大学大学院生命科学部	教授
研究分担者	北村健一郎	山梨大学医学部	教授
研究分担者	福井 亮	東京慈恵会医科大学	助教
研究協力者	猪阪善隆	大阪大学大学院医学系研究科	教授

研究要旨

CKD診療連携体制の構築-大阪府の取組について、厚生労働省 腎疾患対策担当者会議での情報提供内容を中心に記す。

CKD対策の推進に資する目的で、大阪府において大阪慢性腎臓病対策協議会(O-CKDI)が2015年12月に設立され、2016年4月より実質的活動を開始した。その2018年度の活動について、概略を記載する。また、2019年年2月21日に厚生労働省にて開催された腎疾患対策担当者会議において、大阪府健康医療部健康医療室健康づくり課担当者がO-CKDIとの連携を一つ端緒として大阪府のCKD対策を推進していることを報告したので、その内容につき提示し、行政との連携の実例として参考に供したい。

A. 研究目的・方法

我が国は高齢化社会の到来を迎え、診療対象の多くが高齢者となりつつある。老年人口の増加は今後も継続し、2025年には高齢化率は30%を越えることが予想されている。平均寿命と日常生活に制限のない健康寿命との差（不健康期間）は男性で9年以上、女性12年以上あり、その差はむしろ拡大方向にある。健康寿命の延伸によって、平均寿命との差を短縮することができれば、個人の生活の質の低下防止とともに、社会保障負担の軽減も期待できる。

CKDは国民の健康寿命延伸の障害因子ともなりうる。本邦では透析導入年齢の高齢化が進み、2015年度の導入時平均年齢は男性が68.37歳、女性は70.95歳であった。全体の平均は69.20歳であり、透析患者数増加の一因は高齢化である。高齢者特に75歳以上の後期高齢者の末期腎不全への進行阻止が求められている。大阪府においてもこの問題は看過できないレベルに至っており、体系的・包括的なCKD対策の策定・実施が

課題とされてきた。これを受けて、2015年12月に大阪府慢性腎臓病対策協議会

(O-CKDI) が設立された。その今日までの活動内容は、「慢性腎臓病CKDの診療体制構築と普及・啓発による医療の向上」の方法論と実践になっている。また、併せて、この活動を踏まえて行った厚生労働省 腎疾患対策担当者会議における情報提供についての報告も、本研究推進の成果の一環をなしている。

B.研究結果

I. O-CKDI活動報告

以下にO-CKDI活動報告発表資料を提示する。構成員および、透析導入数減少目標を提示し、その後、過去3年間の普及啓発活動の具体を示す。

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 【参加者】                 | 【欠席者】                   |
| ・ 守山敏樹 (大阪大学)         | ・ 林 亮正 (大阪府健康・総合医療センター) |
| ・ 猪阪善隆 (大阪大学)         | ・ 福田正博 (大阪府内科医会)        |
| ・ 石村崇治 (大阪市立大学)       |                         |
| ・ 栗 浩人 (大阪医科大学)       |                         |
| ・ 有馬亮二 (法政大学)         |                         |
| ・ 福原雅彦 (大阪市立大学)       |                         |
| ・ 小西雅夫 (大阪市立総合医療センター) |                         |
| ・ 飯口博康 (住友病院)         |                         |
| ・ 菅原 昭 (大阪赤十字病院)      |                         |
| ・ 高橋誠行 (関西医科大学)       |                         |
| ・ 塚本達雄 (北野病院)         |                         |
| ・ 中田裕人 (市立東大阪医療センター)  |                         |
| ・ 山内 洋 (大阪府立病院)       |                         |
| ・ 石村崇治 (大阪市立大学)       |                         |
| ・ 西澤昌記 (井上病院)         |                         |
| ・ 武原善雄 (北野病院)         |                         |
| ・ 中谷健志 (大阪府健康づくり課)    |                         |
| ・ 谷 智代 (大阪府健康づくり課)    |                         |

### 年間の新規透析導入患者数 目標値

#### 【腎疾患対策検討会】

- 2028年までに、年間新規透析導入患者数を35,000人以下に減少させる。(2016年の年間新規透析導入患者数は約39,000人)
- 新規透析導入患者数について、2016年比で、**5年で5%以上減少、10年で10%以上減少**を達成する。

#### 【大阪府】

- 2028年までに、年間**新規透析導入患者数を2500人以下(糖尿病性腎症1000人以下)**に減少させる。(2016年の年間新規透析導入患者数は約2788人(糖尿病性腎症1174人)(性別、年齢など判明している新規導入患者は37252人)

### O-CKDI共催及び後援の会合(2016年度) 演会

- 5月14日 豊中市医師会講演会
- 5月19日 高槻CKDネットワーク
- 5月21日 第7回中津CKD病診連携勉強会
- 7月21日 法円坂 糖腎 医療連携Forum
- 7月21日 阿倍野区医師会講演会
- 7月24日 第61回日本透析医学会学術集会・総会 市民公開講座
- 9月3日 豊中市医師会CKD研修会
- 9月23日 守口市医師会学術講演会
- 9月29日 CKDのチーム医療を考える会
- 10月5日 第54回全国大学保健管理研究会 ランチオンセミナー
- 10月29日 高槻市医師会学術講演会
- 10月29日 第8回中津CKD病診連携勉強会
- 12月3日 O-CKDI講演会
- 12月20日 堺市医師会内科医会学術講演会

### O-CKDI共催及び後援の会合(2016年度) 演会

- 1月12日 ORCH CKD病診連携の会
- 3月2日 中之島腎臓フォーラム2017
- 3月11日 街頭キャンペーン
- 3月11日 第9回中津CKD病診連携勉強会
- 3月18日 南大阪CKD連携の会

計19回

### O-CKDI共催及び後援の会合(2017年度)

- 4月20日 第5回狭山心腎血管研究会
- 5月20日 高槻CKDネットワーク
- 7月15日 北河内腎臓病フォーラム
- 8月26日 慢性腎臓病市民公開講座(高槻市)
- 9月14日 CKDチーム医療を考える会
- 9月30日 第10回中津CKD病診連携勉強会
- 11月25日 北河内慢性腎臓病(CKD)市民公開講座
- 12月2日 CKDセミナー(日本腎臓財団)
- 12月9日 大阪慢性腎臓病対策協議会(O-CKDI専門医向け企画)
- 1月18日 東大阪慢性腎臓病カンファレンス(市立東大阪総合医療センター)
- 1月25日 慢性腎臓病地域連携勉強会(大阪大学)
- 1月27日 第2回慢性腎臓病(CKD)セミナー(大阪市立総合医療センター)
- 2月17日 Osaka Kidney Meeting(大阪市立総合医療センター)

### O-CKDI共催及び後援の会合(2017年度)

- 3月1日 K2-Net(北野病院)
- 3月1日 中之島腎臓フォーラム2018(住友病院・関西電力病院・JCHO大阪)
- 3月3日 市民公開講座in大阪(大阪医療センター)
- 3月3日 市民公開講座(白鷺病院)
- 3月8日 病診連携CKDセミナー(大阪大学)
- 3月10日 世界腎臓DAYイベント(O-CKDI)
- 3月15日 豊能医療圏CKDカンファレンス
- 3月17日 第11回中津CKD連携勉強会(済生会中津)
- 3月22日 ORCH CKD病診連携の会(大阪日赤)

計22回

### O-CKDI共催及び後援の会合(2018年度)

- 4月21日 慢性腎臓病市民公開講座in茨木(高槻病院)
- 4月25日 淀川区医師会学術講演会(福田先生)
- 5月22日 北野病院腎臓病教室
- 5月24日 地域医療ネットワーク講演会(松下記念病院)
- 6月2日 腎不全ネットワークの会(日生病院他)
- 6月21日 慢性腎臓病地域連携勉強会(阪大)
- 6月26日 北野病院腎臓病教室
- 7月24日 堺市医師会内科医会学術講演会(大阪労災)
- 7月24日 北野病院腎臓病教室
- 8月28日 北野病院腎臓病教室
- 9月1日 第3回地域が考える腎臓病・糖尿病連携の会(明治橋病院)
- 9月1日 慢性腎臓病市民公開講座 高槻市(大阪医大)
- 9月8日 豊中鑑の腎(市立豊中病院)

### O-CKDI共催及び後援の会合(2018年度)

- 9月15日 北河内腎臓病フォーラム2018(関西医大)
- 10月3日 K2-Net(北野病院)
- 10月4日 CKDチーム医療を考える会(大阪日赤)
- 10月13日 第12回中津病診連携勉強会(済生会中津)
- 10月18日 第6回慢性腎臓病地域連携勉強会(阪大)
- 10月23日 北野病院腎臓病教室
- 11月21日 枚方市腎臓地域連携の会
- 11月27日 北野病院腎臓病教室
- 12月8日 大阪慢性腎臓病対策協議会
- 1月22日 北野病院腎臓病教室
- 1月24日 第7回慢性腎臓病地域連携勉強会(阪大)
- 2月2日 第4回地域が考える腎臓病・糖尿病連携の会(明治橋病院)
- 2月26日 北野病院腎臓病教室

### O-CKDI共催及び後援の会合(2018年度)

- 3月2日 第2回市民公開講座(白鷺病院)
- 3月7日 K2-NET(北野病院)
- 3月7日 中之島腎臓フォーラム2019(住友病院・関西電力病院・JCHO大阪病院)
- 3月9日 慢性腎臓病“CKD”ミニレクチャー&健康相談
- 3月14日 病診連携CKDセミナー 慢性腎臓病の合併症対策(大阪大学)
- 3月16日 第13回中津CKD連携勉強会
- 3月23日 第1回城北腎疾患連携セミナー(大阪市立総合医療センター)

計33回

今後は中外以外の後援・共催も積極的に追加いただく

ついで、日本腎臓学会における報告予定について示す。本年度はCKD対策推進における行政との連携の重要性について学会主導企画「CKD対策 今後の展望」において発表する。また、O-CKDIでは、府内の腎専門医に呼びかけ、CKD対策推進委員に就任し、各地域における普及啓発・診療連携に取り組んでいただくスキームを導入しており、行政との連携とあわせて、報告する予定である。

### 学会に対する活動(例)

The 62nd Annual Meeting of the Japanese Society of Nephrology  
**第62回日本腎臓学会学術総会**  
 学会主導企画1「CKD対策 今後の展開」

日時：6月21日(金曜日) 9:00~11:00  
 会場：第2会場(名古屋国際会議場 4号館1階 白鳥ホール(北))  
 司会：山縣 邦弘(筑波大学医学系泌尿内科学)  
 副会：内田 啓子(東京女子医科大学保健管理センター)

1. 新たなCKD対策 行政の役割  
 堀田 誠一(厚生労働省健康増進局)  
 2. CKD対策の新たな展開-NPK  
 伊藤 孝史(鳥取大学医学部附属病院)  
 3. CKD対策推進における行政との連携の重要性  
 守山 敏樹(大阪大学キャンパスライフ健康支援センター)  
 4. わが国のCKD患者数の将来予測  
 尾 高一(岩手医科大学腎・高血圧内科)  
 5. 最近のCKD患者管理・治療のエビデンスにもとづく新規薬剤開発法給薬者減少へのロードマップ  
 高崎真理子(東北大学腎・高血圧・内分泌学分野)

**本年度も日本腎臓学会等で報告予定です**

以下、2019年3月日土曜に実施した世界腎臓デーの啓発イベント報告を示す。

**<開催報告>**  
**慢性腎臓病“CKD”**  
**ミニレクチャー&健康相談**

**開催日時**  
 2019年3月9日(土)  
 12時~16時

**開催場所**  
 大阪駅前ディアモール  
 大阪地下1階

**【ミニレクチャー】 開催：12時~15時半**

12:30~13:00 ①何だっけ、CKDって?  
 13:20~13:50 ②CKDの治療について  
 14:10~14:40 ③腎臓病を防ぐ生活習慣  
 15:00~15:30 ④腎不全の治療選択  
 【レクチャー講師】

①大阪労務病院 長門谷 亮之 先生  
 ②大阪大学 守山 敏樹 先生  
 ③大阪府心臓血管病予防センター 本田 啓子 先生  
 ④関西医科大学 鈴木 智子 先生

**健康相談は12時から16時まで、腎臓のこと、気軽に相談ください。**

申請・申し込み不要  
 参加費無料

共催：大阪慢性腎臓病対策協議会/中外製薬株式会社(ミニレクチャーのみ)  
 後援：NPO法人日本腎臓病協会/NPO法人腎臓学がっしり会/  
 公益財団法人日本腎臓病財団/大阪府内科医会/大阪府医師会/大阪府/大阪市

### ディアルーム会場

・ミニレクチャー  
 ・健康相談

実施にあたっては、大阪府 HP 等でも広報いただくことができた。また府政だより(3月1日)。これを持参してイベントに参加された例もあった。

**広報**  
**大阪府HP**  
 (2/15掲載)  
 ※「アスマイル」アプリ内にも掲載

**広報**  
**府政だより**  
 (3/1掲載)

こちらのチラシを持って来場される方が見受けられました

日本腎臓病協会(JKA)のHPにおいても報告した。

**広報**  
**日本腎臓病協会HP**  
 ※大阪府で登録されている活動は本件のみ

CKDイベント情報

あなたの腎臓、気にしたことはありますか?  
 慢性腎臓病“CKD”ミニレクチャー&健康相談

日時	2019年3月9日(土) 12:00~16:00
会場	大阪駅前ディアモール大阪地下1階
参加費	参加費無料
お問い合わせ	▼ミニレクチャーに関するお問い合わせ▼ 中外製薬株式会社大阪支店 TEL: 06-4263-2770 ▼健康相談に関するお問い合わせ▼ 大阪府心臓血管病予防センター TEL: 06-6273-3007
※お問い合わせ期間	9:00~17:00(土日、祝日も除く)
共催	大阪慢性腎臓病対策協議会/中外製薬株式会社(ミニレクチャーのみ)
後援	NPO法人日本腎臓病協会/NPO法人腎臓学がっしり会/公益財団法人日本腎臓病財団/大阪府内科医会/大阪府医師会/大阪府/大阪市



CKD御存知でしたか？		
	はい	いいえ
ディースクエア (140名)	28名 (20.0%)	112名 (80.0%)
ディアルーム (32名)	18名 (56.2%)	14名 (43.8%)
合計 (172名)	46名 (26.7%)	126名 (73.3%)

上に当日会場で実施した CKD の認識についてのアンケート結果を示す。ディアルームはミニレクチャーの聴講者であり、既に CKD を認知して参加されていることが推測され、一方、ディースクエアは、文字通り「通りすがり」の人々であり、より一般的な CKD の認知度を反映している可能性が高い。

**ご協力  
有難うございました**

**ミニレクチャー 172名 (昨年134名)**

**健康相談 111名 (昨年159名)**

**アンケート 172名 (昨年154名)**

今年の WKD イベント総括を示す。ミニレクチャー及びアンケートの参加者が昨年より多かった。健康相談は減少したが、CKD の認知上昇という観点からは、一定の成果があると考えられる。

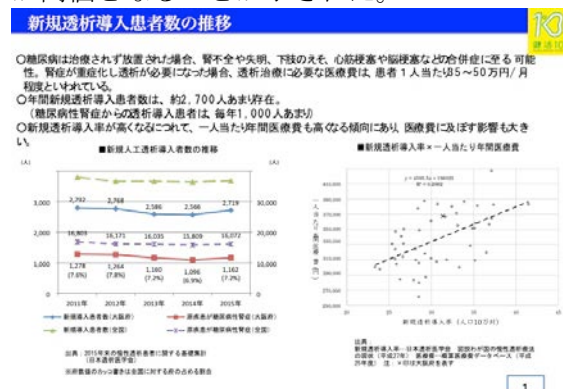
続いて、腎疾患対策担当者会議において、大阪府健康医療部健康医療室健康づくり課担当者が行った報告を提示する。

**大阪府のCKD (慢性腎臓病) 対策について**

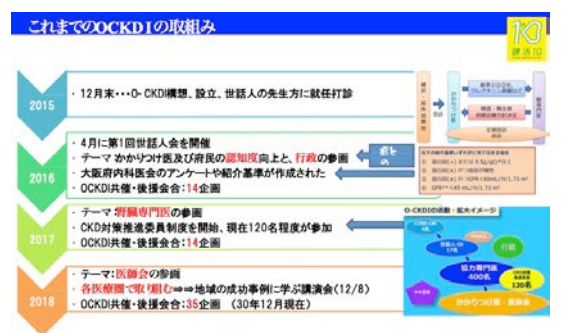
平成31年2月12日  
腎疾患対策担当者会議

大阪府 健康医療部 保健医療室 健康づくり課

まず、大阪府の新規透析導入患者数の推移が示された。現状では 2700 名/年、内糖尿病腎症が原疾患と考えられる者が約 1000 名である。新規透析導入率と年間医療費についてもデータが提示され、新規導入率が高いほど、一人あたりの年間医療費が高価となることが示された。



ここから、0-CKDIとの協調によるCKD 対策推進について紹介された。



### 腎疾患対策報告書がとりまとめられる (30年7月)

第1回検討会で、大阪大学守山教授が参考人として大阪府や本市の取組を報告、報告書に反映される

【参加】 腎疾患対策検討会報告書(概要)  
 一腎疾患対策の要なる推進を目指して一

【目的】 腎疾患対策(CKD)を早期に発見・診断し、高度で適切な治療を早期から実施・継続することにより、CKD重症化予防を推進するとともに、CKD患者(透析患者及び腎臓病患者を含む)のQOLの維持向上を図る。

【達成すべき具体目標(CKD)】

① 腎疾患の発症は、他の慢性疾患、がん、呼吸器疾患の多くと同様に早期発見が重要であり、腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

② 腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

③ 腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

④ 腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

⑤ 腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

⑥ 腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

⑦ 腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

⑧ 腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

⑨ 腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

⑩ 腎疾患の重症化を予防する観点から、早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

大阪府の行政の立場からのCKD対策について、紹介があった。

### 大阪府における取組の状況【CKD】

【目的】 透析・透析前CKD患者の生活習慣病の予防、特定健診受診率向上、難病性腎疾患患者の早期発見・診断・治療の促進、CKDの重症化予防、CKD患者の生活習慣病予防の取組の中で、CKDも重要な取組が可能

腎疾患対策検討会報告書における取組状況

項目	今後実施すべき取組	協議会	大阪府・市町村
①普及啓発	国、普及啓発資料の開発・普及 学会、県、普及啓発活動(講演・研修・健康講座等)の連携(活動拡大効果)	・世界腎臓病デーイベント(国際会議・セミナー、チラシ作成等) ・市民公開講座 (講師・食育推進、チラシ作成等)	・世界腎臓病デーイベント(「腎臓」(女子)の出演、報道発表・告知等) ・市民公開講座(「腎臓健康」, 広報等)
②医療連携体制の整備	学会、国や自治体と連携して紹介基準を普及、かかりつけ医と腎臓専門医連携等との連携	・大阪慢性腎臓病協議会の活動(ネットワーク、内科医会と連携した紹介基準の作成、かかりつけ医向け講座等)	・大阪慢性腎臓病対策協議会へのオブザーバー参加 大阪慢性腎臓病対策協議会主催の講演会の参加、参加(行政報告)
③診療水準の向上	学会、ガイドラインの作成・普及	—	—
④人材育成	学会、メディカルスタッフの育成、連携の推進	—	・市町村等保健師向け研修会の開催(府主催・保健師協議会主催)
⑤研究開発の推進	—	—	—

0-CKDI との連携を通じて、平成 30 年から 5 年間実施される第 3 次大阪府健康増進計画において、慢性腎臓病 (CKD) が独立した項目として取り上げられたことが示され、0-CKDI と行政の連携による成果の一つとして位置づけられる。

### 第3次大阪府健康増進計画【30～35】におけるCKDについて

第3章 府民の健康をめぐる状況

1 健康指標からみた現状と課題

2 生活習慣病の状況

(1) 脂質異常症 (がん)

(2) 心疾患

(3) 認知症疾患

(4) 糖尿病

(5) がん

(6) 慢性腎臓病 (CKD)

(7) 肥満

(8) メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群)

(9) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)

(10) 肥満、中肥

3 「食生活」や「運動」、「歯と口」等の健康行動

4 社会参加・社会連携

第3次計画では新たな項目として明記

目標	健康指標	現状	2023年度目標
▽慢性腎臓病(CKD)による年間新規透析導入患者数		1,162人(412)	1,000人未満

大阪府下の自治体における地域に密着したCKD啓発の例が示された。

### 事例：講演会(行政+関係機関の連携)①

#### 北河内腎臓病フォーラム (Final Announcement)

日時：2017年7月15日(土)16時～18時  
 場所：ホテル・アプローツ大阪WTC4F 白組  
 大阪府行政庁舎1010-5  
 TEL：06-6994-1111

【開催要項】 16時00分～17時00分  
 開会式(16時00分～17時00分)  
 講演(17時00分～18時00分)  
 懇話会(18時00分～18時30分)

【講演】 腎臓病の早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

【懇話会】 腎臓病の早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

【参加】 富田林市 + 寝屋川市 + 薬剤師会 + 専門医療機関 + 大阪府 + OCKDI

### 事例：講演会(行政+関係機関の連携)②

#### 大阪慢性腎臓病対策協議会(O-CKDI) ~大阪府におけるCKD対策について~

日時：2018年12月8日(土)16時00分～18時30分  
 場所：TKPガーデンシティPREMIUM心城3階 パレット3A  
 大阪府行政庁舎4-3-2エントランスロビー(府庁ビル3F)  
 TEL:06-6321-5947

【講演】 腎臓病の早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

【懇話会】 腎臓病の早期発見・診断の重要性を広く周知・啓発することにより、早期発見・診断の促進を図る。また、早期発見・診断の促進を図るため、早期発見・診断の促進を図る。

【参加】 大阪府 + 豊中市 + 専門医療機関 + 摂生市 + OCKDI

### 事例：市町村における地域連携の取組(大阪府寝屋川市)

#### 透析予防のための地域連携

##### CKD予防地域連携システム

地域連携協定

- 2015年 寝屋川市医師会・薬剤師会・歯科医師会・臨床検査技師会・寝屋川市で生活習慣病重症化予防地域連携協定を締結
- 2人主治制(かかりつけ医と腎臓専門医の2人を主治医とする)ことで、早期的に腎機能を維持
- 難病的な難病のフォローで治療の中断を防ぐ
- 腎機能チェック・管理
- 医師会での連携指導
- 紹介、再紹介基準
- 腎臓病の中心
- 2人主治制

【寝屋川市国保の人工透析患者数の推移】

○平成28年度の新規透析患者33人のうち9人は、すでに透析を受けていた人の国保転入者、その9/16人は他保険者から転入

○国保被保険者になつて透析導入になつた転入者14人のうち10人の7人(71%)が2週間以内の病名が「糖尿病性腎病」に該当

【国保2-21】 新規透析患者 年別内訳 (平成24～28年度)

年度	新規透析患者	糖尿病性腎病	糖尿病性腎病以外
2012	24	6	18
2013	24	14	10
2014	23	6	17
2015	24	13	11
2016	24	16	8
2017	27	13	14

【国保2-22】 新規透析患者 33人内訳 国保転入(透析導入)人数 (平成28年度)

転入者	人数	割合
国保被保険者	19	57.6%
他保険者	14	42.4%

### 事例：市町村における地域連携の取組(大阪府寝屋川市)

#### 透析予防のための地域連携

地域連携協定

- 2015年 寝屋川市医師会・薬剤師会・歯科医師会・臨床検査技師会・寝屋川市で生活習慣病重症化予防地域連携協定を締結
- 2人主治制(かかりつけ医と腎臓専門医の2人を主治医とする)ことで、早期的に腎機能を維持
- 難病的な難病のフォローで治療の中断を防ぐ
- 腎機能チェック・管理
- 医師会での連携指導
- 紹介、再紹介基準
- 腎臓病の中心
- 2人主治制

【寝屋川市国保の人工透析患者数の推移】

○平成28年度の新規透析患者33人のうち9人は、すでに透析を受けていた人の国保転入者、その9/16人は他保険者から転入

○国保被保険者になつて透析導入になつた転入者14人のうち10人の7人(71%)が2週間以内の病名が「糖尿病性腎病」に該当

【国保2-21】 新規透析患者 年別内訳 (平成24～28年度)

年度	新規透析患者	糖尿病性腎病	糖尿病性腎病以外
2012	24	6	18
2013	24	14	10
2014	23	6	17
2015	24	13	11
2016	24	16	8
2017	27	13	14

【国保2-22】 新規透析患者 33人内訳 国保転入(透析導入)人数 (平成28年度)

転入者	人数	割合
国保被保険者	19	57.6%
他保険者	14	42.4%

透析予防のための地域連携の取り組みとして寝屋川市の事例が紹介された。以下、都道府県(自治体)の立場から主として新規透析導入患者数抑制に向けた取り組みとして次の方向性が示された。

まとめ (県の立場から今後も含めた取組の方向性)



○CKDIに特化した個別対策を実施しなくても、糖尿病など生活習慣病予防の取組みの中で、CKDも含めた取組みが可能ではないか

- ◆ 協力してくれる腎臓専門医の先生を見つける・相談するイカリあり  
～腎臓学会の担当の先生とのWIN-WINの関係づくり～
- ◆ 学会、医療機関、医師会の取組みと連携する  
～専門医・かかりつけ医対象のフォーラムセミナー、世界腎臓病デーイベントなど～
- ◆ 既存の連携の輪を広げる  
～糖尿病などの生活習慣病連携を活用する～
- ◆ 既存の生活習慣病対策の事業を活用する  
～生活習慣病予防セミナーや糖尿病性腎症重症化予防事業、保険者協議会研修など～
- ◆ 市町村・市町村国保や保険者を支援  
～県全体の枠組みづくり関係者間の総合調整など～

14



15

以上、0-CKDIの設立以降の歩みと、大阪府の協調によるCKD対策の進展について報告する。

D. 研究発表  
なし

E. 知的財産権の出願・登録状況  
(予定なし。)